

伊江島での戦争

- ① 沖縄本島の西に浮かぶ、周囲22キロの小さな島
- ② 太平洋戦争の終盤、この島は、住民のおよそ半数が命を落とす、過酷な地上戦の舞台となった。沖縄戦当時東洋一の飛行場が建設されていた島
- ③ 4月16日～21日での、いわゆる「6日戦争」で、日本人4700人が犠牲者となる激しい戦闘が行われた
- ④ その後、戦時中米軍に占領され、そこで生き残った人たちは全員、慶良間諸島の渡嘉敷島に移され、1947年3月帰村許可が出るまでの間、米軍だけの島になった島
- ⑤ さらに住民が避難していた壕のなかでは、身内が身内に手をかける集団自決も発生した
- ⑥ 戦後は、阿波根昌鴻氏による「伊江島基地闘争」があった島
- ⑦ 伊江島の戦中、戦後の歴史は1943年の日本軍飛行場建設時の住民徴用から激しい戦闘、戦後の強制住民移動、米軍の強制土地接收、基地被害など「沖縄戦の縮図」といわれるほど